

# 平成 24(2012)年度 東京大学大学院新領域創成科学研究科 修士課程学生募集要項

## 教育研究の目的

東京大学大学院新領域創成科学研究科は、東京大学既存のすべての部局の全面的な協力のもと平成 10 年に新設された、修士・博士課程のみの新しい大学院（独立研究科）です。本研究科は、従来の学問分野とは異なる新しい視野から、現代の科学技術が前提としてきた枠組みそのものの中に内在する重要な諸問題の解決に挑戦する事を目的としています。これまでの科学は専門性を深く探求することに専念したために、お互いの関係性が見えにくい場合も多く、いくつかの弊害も出てきました。相互関係性を深く認識し合うとともに、既存の分野を超えた新しい受け皿を作ることにより、現実には即した本質的な英知に至ることが可能になると考えます。この新たな領域に果敢に挑戦するため、本研究科では「学融合」を基本理念に、既存の個別学問分野から派生する未開拓の領域を研究・教育の対象とし、領域横断的な視点と高度な問題解決能力を有する「国際性豊かな」人材を育成しています。

ホームページ <http://www.k.u-tokyo.ac.jp/>

## 本研究科が求める学生像

本研究科がめざす新しい分野を創成する為には、様々な学術の持つ方法論を駆使して問題を分析し再構成することが必要です。そのために以下のような学生を求めます。

- (1) 学部レベルでの教養教育や専門個別学術の基礎に対する深い理解がある人
- (2) 多くの分野を能動的に学び、積極的な活動を展開しうる人
- (3) 将来、広く国際社会のために積極的な貢献を行う能力や意欲を持つ人

## 0. はじめに

### この要項の目的と役割

この募集要項は、東京大学大学院新領域創成科学研究科修士課程学生募集に当たっての基本事項をまとめたものです。ここに記載する基本事項に加えて、各専攻（注）が独自に求める事項や入試の実施方法等、詳細については、各専攻の入試案内書あるいは関連ウェブサイト上に記載されていますので、確認してください。

<http://www.k.u-tokyo.ac.jp/exam/>

注 本研究科には 12 専攻がありますが、そのほかに独自の入試を行う教育プログラム（サステイナビリティ学教育プログラム）があります。本要項で単に専攻（あるいは各専攻）と記載した場合は、サステイナビリティ学教育プログラムを含めます。

## 1. 入試の種類

全ての専攻で「一般入試」を実施しています。さらに一部の専攻では、外国の学校を修了した受験者のために「外国人等特別選考」を実施しています。

また、夏（入試日程 A）には全ての専攻が入試を行いますが、冬（入試日程 B）にも入試を行う専攻があります。

## 2. 出願資格

### (1) 一般入試

- ① 大学を卒業した者及び平成 24 (2012) 年 3 月 31 日 (平成 23 (2011) 年 10 月入学の場合は平成 23 (2011) 年 9 月 30 日) までに卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 24 (2012) 年 3 月 31 日 (平成 23 (2011) 年 10 月入学の場合は平成 23 (2011) 年 9 月 30 日) までに修了見込みの者
- ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 24 (2012) 年 3 月 31 日 (平成 23 (2011) 年 10 月入学の場合は平成 23 (2011) 年 9 月 30 日) までに修了見込みの者
- ④ 我が国において、外国の大学の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び平成 24 (2012) 年 3 月 31 日 (平成 23 (2011) 年 10 月入学の場合は平成 23 (2011) 年 9 月 30 日) までに修了見込みの者
- ⑤ 専修学校の専門課程 (修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。) で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び平成 24 (2012) 年 3 月 31 日 (平成 23 (2011) 年 10 月入学の場合は平成 23 (2011) 年 9 月 30 日) までに修了見込みの者
- ⑥ 昭和 28 年文部省告示第 5 号をもって文部科学大臣の指定した者<sup>(注1)</sup>
- ⑦ 学校教育法第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者及び平成 24 (2012) 年 3 月 31 日 (平成 23 (2011) 年 10 月入学の場合は平成 23 (2011) 年 9 月 30 日) までに授与される見込みの者<sup>(注2)</sup>
- ⑧ 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認めた者<sup>(注3)</sup>
- ⑨ 我が国において、外国の大学の課程 (その修了者が当該外国の学校教育における 15 年の課程を修了したとされるものに限る。) を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置づけられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認めた者<sup>(注3)</sup>
- ⑩ 個別の入学資格審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者で、平成 24 (2012) 年 3 月 31 日 (平成 23 (2011) 年 10 月入学の場合は平成 23 (2011) 年 9 月 30 日) において 22 歳に達している者<sup>(注3)</sup>  
ただし、大学に在籍している者は、個別の入学資格審査の対象となりません。

### (2) 外国人等特別選考

以下のいずれかの要件を満たす者は、外国人等特別選考を受験することができます。ただし、外国人であっても、日本において、後期中等教育 (日本における高等学校に相当) 又は大学教育を修了した者 [平成 24 (2012) 年 3 月 31 日 (平成 23 (2011) 年 10 月入学の場合は平成 23 (2011) 年 9 月 30 日) までに修了見込みの者を含む] は一般入試を受験しなければなりません。

- ① 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した者及び平成 24 (2012) 年 3 月 31 日 (平成 23 (2011) 年 10 月入学の場合は平成 23 (2011) 年 9 月 30 日) までに修了見込みの者
- ② 外国において学校教育における 15 年の課程を修了し、所定の単位を優秀な成績で修得したものと本研究科において認めた者<sup>(注3)</sup>

- ③ 外国において後期中等教育及び大学教育を修了した者又は平成 24（2012）年 3 月 31 日（平成 23（2011）年 10 月入学の場合は平成 23（2011）年 9 月 30 日）までに修了見込みの者
- ④ 次の各号に掲げる出願資格の全てに該当する者<sup>(注3)</sup>
- ア. 4 年制の大学に相当する教育施設の卒業者（修了者）等で、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者
- イ. 外国において教育を受けた期間が、外国人等特別選考の出願資格を有するものと本研究科が認めた者
- ウ. 平成 24（2012）年 3 月 31 日（平成 23（2011）年 10 月入学の場合は平成 23（2011）年 9 月 30 日）において 22 歳に達している者

(注 1) (1)の⑥に該当する者とは、旧大学令による大学、各省庁組織令・設置法による大学校等を卒業した者及び卒業見込みの者です。

(注 2) (1)の⑦に該当する者とは、学位授与機構又は大学評価・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び授与される見込みの者です。

(注 3) (1)の⑧、⑨、⑩及び(2)の②、④の資格により出願しようとする者は、出願前に入学資格審査を行いますので、本研究科教務係に問い合わせをし、下記期日までに指示された書類を提出してください。

なお、(1)の⑩に該当する者とは、上記(1)の①から⑨に該当しない者のうち、4 年制の大学に相当する教育施設の卒業者（修了者）等で、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本研究科において認めた者です。

・入試日程 A 平成 23（2011）年 5 月 30 日（月）まで

（ただし、海洋技術環境学専攻及び人間環境学専攻の特別口述試験受験希望者は平成 23（2011）年 5 月 6 日（金）まで）

・入試日程 B 平成 23（2011）年 11 月 4 日（金）まで

入学資格審査で大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた後に、出願を受け付け、受験を許可します。

### 3. 選抜方法

入学者は、筆記試験、口述試験及び提出書類等を総合的に判定し選抜します。

## 4. 出願手続

- (1) 出願期間 入試日程A：【一般入試・外国人等特別選考】  
平成23(2011)年6月21日(火)から6月27日(月)まで  
(ただし、6月29日(水)までに到着したもので、6月27日(月)以前の消印があるものは有効とします。)

【一般入試(特別口述試験)】

平成23(2011)年5月31日(火)から6月6日(月)まで  
(ただし、6月8日(水)までに到着したもので、6月6日(月)以前の消印があるものは有効とします。)  
実施するのは、海洋技術環境学専攻及び人間環境学専攻のみです。

入試日程B：【外国人等特別選考】

平成23(2011)年11月28日(月)から12月2日(金)まで  
(ただし、12月5日(月)までに到着したもので、12月2日(金)以前の消印があるものは有効とします。)

- (2) 出願は郵送に限ります。本要項の巻末に添付する封筒に「提出書類等」を一括して入れ、必ず速達書留郵便としてください。なお、出願書類を持参しても受け付けません。
- (3) 宛先 〒277-8561 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号  
東京大学大学院新領域創成科学研究科 教務係(柏キャンパス新領域基盤棟1階)  
電話 04-7136-4092
- (4) 受験票 受験票は直接本人に送付します。  
受験票の受領をもって出願手続きが完了しますので、下記期日までに受験票が到着しない場合は、必ず本研究科教務係に連絡し、受験票を受領していないことをご知らせください。  
入試日程A：平成23(2011)年7月22日(金)  
入試日程B：平成24(2012)年1月6日(金)

## 5. 併願の禁止

次のような出願はできません。

- (1) 本研究科内の2つ以上の専攻(あるいはサステナビリティ学教育プログラムと他の専攻)に同時に併願すること。
- (2) 入試日程Aに出願して合格した者(第1次試験合格者を含む)が入試日程Bに出願すること。
- (3) 同一日程において修士課程の一般入試及び外国人等特別選考に重複して併願すること。

## 6. 入試の種類及び募集人員

### 【入試日程 A】

下の表で専攻名が無い場合は、当該の入試による募集を行いません。（注1、注2）

入試の種類	専攻名	募集人員	試験の種類			
			筆記試験 (英語を除く)	外国語(英語) の試験タイプ	口述試験	書類審査のみ
一般入試	物質系	38名	○	E1	○	—
	先端エネルギー工学	24名	○	E2	○	—
	複雑理工学	25名	○	E4	○	—
	先端生命科学	54名	○	E5	○	—
	メディカルゲノム	29名	○	E6	○	—
	自然環境学	46名	○	E6	○	—
	海洋技術環境学	18名	○注3	E3注3	○	—
	環境システム学	18名	○	E2	○	—
	人間環境学	38名	○注3	E7注3	○	—
	社会文化環境学	32名	○	E4	○	—
	国際協力学	20名	○	E8	○	—
	サステイナビリティ学教育プログラム	[備考(2)参照]	—	E8	○	—
情報生命科学	24名	○	E3	○	—	
外国人等特別選考	物質系	若干名	○	E1	○	—
	先端エネルギー工学	若干名	○	E4	○	—
	複雑理工学	若干名	○	E4	○	—
	先端生命科学	若干名	—	E5	○	—
	メディカルゲノム	若干名	—	E6	○	—
	自然環境学	若干名	—	E9	○	—
	海洋技術環境学	若干名	○	E3	○	—
	環境システム学	若干名	○	E4	○	—
	人間環境学	若干名	—	E8	—	○
国際協力学	若干名	—	E8	—	○	
		計 366名				

注1 社会文化環境学専攻と情報生命科学専攻では、外国人等特別選考を行いませんが、一般入試での設問はすべて日英二ヶ国語でなされ、解答も日英二ヶ国語のどちらでもできます。

注2 サステイナビリティ学教育プログラムでは、外国人等特別選考を行いませんが、一般入試を英語で実施します。

注3 特別口述試験に合格した場合、筆記試験及び外国語の試験を免除します。

### 【入試日程 B】

下の表で専攻名が無い場合は、当該の入試による募集を行いません。

入試の種類	専攻名	募集人員	試験の種類			
			筆記試験 (英語を除く)	外国語(英語) の試験タイプ	口述試験	書類審査のみ
外国人等特別選考	先端エネルギー工学	若干名	○	E8	○	—
	先端生命科学	若干名	—	E5	○	—
	メディカルゲノム	若干名	—	E6	○	—
	自然環境学	若干名	—	E9	○	—
	海洋技術環境学	若干名	○	E9	○	—
	環境システム学	若干名	○	E8	○	—
	人間環境学	若干名	—	E8	—	○
	国際協力学	若干名	—	E8	—	○
サステイナビリティ学教育プログラム	若干名	—	E8	—	○注4	

注4 サステイナビリティ学教育プログラムでは、柏キャンパスにおける口述試験は実施しませんが、必要に応じて電話インタビューやインターネットを通じたインタビューなどを行う場合があります。

備考

- (1) 受験者の成績によっては、入学許可者数が募集人員に達しない場合があります。
- (2) サステナビリティ学教育プログラムの募集人員については、環境学研究系の6専攻（自然環境学専攻、海洋技術環境学専攻、環境システム学専攻、人間環境学専攻、社会文化環境学専攻及び国際協力学専攻）の定員の枠内で総合的に判断して決定されます。
- (3) 表中に記号で示す外国語（英語）の試験タイプは以下のとおりです。
  - E 1 TOEFL-ITP を受験。
  - E 2 ①TOEFL-ITP を受験、②TOEFL のスコアシートを提出、③TOEIC のスコアシートを提出。  
 (①～③のうち1つ以上を選択。ただし、出願時に社会人の者のみ「③TOEIC のスコアシートを提出」を選択することができる。)
  - E 3 ①TOEFL-ITP を受験、②TOEFL のスコアシートを提出、③TOEIC のスコアシートを提出。  
 (①～③のうち1つ以上を選択。)
  - E 4 ①TOEFL-ITP を受験、②TOEFL のスコアシートを提出。  
 (①～②のうち1つ以上を選択。)
  - E 5 専攻が準備する外国語（英語）筆記試験を受験。
  - E 6 専攻が準備する外国語（英語）筆記試験を受験、前記筆記試験に加えて TOEFL のスコアシート又は TOEIC のスコアシートを提出も可。
  - E 7 ①専攻が準備する外国語（英語）筆記試験を受験、②TOEFL のスコアシートを提出。  
 (①～②のうち1つ以上を選択。)
  - E 8 TOEFL のスコアシートを提出。
  - E 9 ①TOEFL のスコアシートを提出、②TOEIC のスコアシートを提出。  
 (①～②のうち1つ以上を選択。)
- (4) TOEFL 及び TOEIC のスコアシートの取り扱いは、次のとおりです。

【入試日程A】

専攻名	スコアシート提出期限
メディカルゲノム、自然環境学	平成 23 (2011) 年 7 月 22 日 (金) (必着)
先端エネルギー工学、複雑理工学、海洋技術環境学、環境システム学、人間環境学、社会文化環境学、国際協力学、サステナビリティ学教育プログラム、情報生命科学	平成 23 (2011) 年 8 月 10 日 (水) (必着)

【入試日程B】

専攻名	スコアシート提出期限
サステナビリティ学教育プログラム	“Examinee’s Score Record” のコピーは出願書類に同封のこと “Official Score Report” も平成 23 (2011) 年 12 月 5 日 (月) までに ETS から研究科に届くよう依頼すること
先端エネルギー工学、メディカルゲノム、自然環境学、海洋技術環境学、環境システム学、人間環境学、国際協力学	平成 24 (2012) 年 1 月 31 日 (火) (必着)

※TOEFL 及び TOEIC のスコアシートは、入試日程Aの場合は平成 21 (2009) 年 9 月 1 日以降に受験したもの、入試日程Bの場合は平成 22 (2010) 年 2 月 1 日以降に受験したものでなければなりません。

【TOEFL スコアシートの提出方法】

TOEFL テストには、[1] TOEFL-PBT、[2] TOEFL-iBT、[3] TOEFL-ITP (平成 24 (2012) 年度入試本研究科以外の団体に受験したもの)、がありますが、[1][2]のスコアのみ有効とします。

TOEFL のスコアシートについては、下記 2 点の両方を本研究科へ提出してください。

- ①ETS (Educational Testing Service) から本人宛に送付された “Examinee’s Score Record” のコピー
- ②ETS から本研究科宛に直送される “Official Score Report”

①の “Examinee’s Score Record” のコピーについては、上記提出期限までに研究科宛に提出されたものを有効とします。②の “Official Score Report” の提出にあたっては、ETS に東京大学大学院新領域創成科学研究科宛「DI (Designated Institution) コード：“8001”」(Department コード：“99”) へ Official Score Report を上記提出期限までに届くように送付請求してください。また、これから TOEFL の受験をする場合はその受験時に請求してください。

なお、ETS から研究科へ送付される “Official Score Report” は海外便で送付されてくるため、請求してから研究科に届くまでにはかなりの日数を要するので、請求の手続きは①の提出期限から 6 週間以上前に行うことをお勧めします。また、TOEFL を複数受験したことにより、ETS から “Official Score Report” が複数枚研究科に送付された場合は、①と同一のスコアを採用します。

これから TOEFL-iBT による受験をする際に、試験時のコンピュータ画面に本研究科の DI コード：“8001” がリストにない場合は、試験終了後に監督官へその旨を伝え、専用用紙に記入して申請してください。注) 東京大学：“9259” では請求しないでください。

#### 【TOEIC スコアシートの提出方法】

TOEIC テストには、[1]TOEIC 公開テスト、[2] TOEIC スピーキングテスト/ライティングテスト、[3]TOEIC IP テスト (団体特別受験制度) 等がありますが、[1]のスコアのみ有効とします。

TOEIC の “Official Score Certificate” (公式認定証) は、上記提出期限までに本研究科宛に未開封のものを提出してください。(自分のスコアを確認してからそれを受験用として提出したい場合は、再発行された “Official Score Certificate” でも構いません。)

#### 【TOEFL-ITP のスコアについて】

平成 23 (2011) 年 8 月 23 日に大学院新領域創成科学研究科で行われる TOEFL-ITP は、TOEFL の団体試験を利用して本研究科の一部の専攻が入学試験として実施するものです。なお、この TOEFL-ITP のスコアは、本研究科入試で出願した専攻でのみ有効であり、結果は公表しません。また、スコアに公的な効力はありません。

#### 【その他】

スコアシートの提出期限までに開催される TOEFL/TOEIC の試験は、その回数が限られています。したがって、日程に十分に余裕を持って受験してください。

TOEFL/TOEIC の試験日・スコアの再発行の請求方法など、詳細については下記のホームページを参照するか、または試験の実施機関に問い合わせてください。

TOEFL: <http://www.cieej.or.jp/>

TOEIC: <http://www.toeic.or.jp/>

## 7. 試験期日及び場所

- (1) 入試日程 A の筆記及び口述試験は、平成 23 (2011) 年 8 月から 9 月初旬に東京大学キャンパス (柏・本郷) にて行います。

ただし、特別口述試験 (海洋技術環境学専攻及び人間環境学専攻のみ) は、平成 23 (2011) 年 7 月上旬に試験を行います。

入試日程及び試験会場については、受験票送付時に通知しますが、詳細は研究科ホームページ及び各専攻の入試案内書あるいは関連ウェブサイトを確認してください。

また、入試日程 A の試験において、主に平成 24 (2012) 年 4 月入学者を対象としますが、専攻によっては平成 23 (2011) 年 10 月入学を認めることがありますので、希望する場合は専攻の入試案内書あるいは関連ウェブサイトを確認してください。

- (2) 入試日程 B の試験は、平成 24 (2012) 年 2 月上旬から中旬に行います。

## 8. 提出書類等

(注意) 書類は全て、日本語又は英語で作成してください。これら以外の言語で記載されている公文書等には、和訳又は英訳を添付してください。

書類等	提出者	摘要
(1) 入学願書	全員	本要項に添付する書式に所要事項を記入してください(両面)。
(2) 写真票 A (3) 写真票 B (4) 受験票	全員	所要事項を記入し、最近3ヶ月以内に撮影した正面上半身脱帽のカラー写真を所定の場所に貼付してください(縦4cm×横3cm)。写真の裏面には、志望専攻・名前を記入してください。
(5) 検定料証明書貼付台紙	全員	<p>ア. 検定料</p> <p>○30,000円</p> <p>○10,000円(人間環境学専攻の外国人等特別選考、国際協力学専攻の外国人等特別選考及びサステイナビリティ学教育プログラムの外国人等特別選考のみ)</p> <p>ただし、外国人出願者のうち、日本政府(文部科学省)奨学金留学生は不要です(日韓共同理工系学部留学生は除く)。なお、本学に在学中(研究生を含む)の者以外は、日本政府(文部科学省)奨学金留学生である証明書を提出してください。</p> <p>イ. 支払方法</p> <p>○最寄りの金融機関から振り込む場合(ゆうちょ銀行・郵便局からは振込できません。)</p> <p>所定の振込依頼書に必要事項を記入の上、振り込んでください。(ただし、ATM、インターネット等は利用しないでください。)</p> <p>振り込みの際、振込金受取書(B票)及び振込金受付証明書(C票)を受け取り、振込金受付証明書(C票)を所定欄に貼り付けてください。振込金受取書(B票)は領収書なので、大切に保管してください。</p> <p>○オンラインで支払いを行う場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニエンスストアで支払う場合</li> </ul> <p>携帯電話又はパソコンで事前申し込み(<a href="https://e-shiharai.net/">https://e-shiharai.net/</a>)を行い、画面の指示に従って必要事項を入力し、番号を取得してください。</p> <p>次に各コンビニエンスストアにて支払を行い、入学検定料・選考料取扱明細書の収納証明書部分を切り取り、所定欄に貼り付けてください。</p> <p>なお、詳細は本研究科ウェブサイトの「検定料の払込方法」を参照してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレジットカードで支払う場合</li> </ul> <p>携帯電話又はパソコンで事前申し込み(<a href="https://e-shiharai.net/">https://e-shiharai.net/</a>)を行い、画面の指示に従って必要事項を入力し、カード決済手続を行ってください。</p> <p>次にプリントアウトした受付完了画面を、所定欄に貼り付けてください。</p> <p>なお、詳細は本研究科ウェブサイトの「検定料の払込方法」を参照してください。</p>

(6) 出身大学の成績証明書	全員	学部（教養課程を含む）の成績を証明するもの。また、大学に編入学をしている場合は、編入学前の大学等の成績証明書も提出してください。高等専門学校専攻科出身者は、学科・専攻科両方の成績証明書を提出してください。コピーは認められません。原本を提出できない場合は、新領域創成科学研究科教務係まで問い合わせてください。
(7) 出身大学（大学院）の卒業（修了）証明書	既に大学（大学院）を卒業（修了）した者	卒業（修了）見込証明書の提出は不要です。コピーは認められません。原本を提出できない場合は、新領域創成科学研究科教務係まで問い合わせてください。
(8) 返信用封筒	全員	本研究科所定の封筒に出願者本人のあて名を記入し、410 円分の切手を貼ってください（1 通）。
(9) あて名ラベル	全員	合格通知書・入学手続書類を受領できる住所を記入してください。
(10) 志望調査票	全員	志望専攻の入試案内書に添付されている所定の用紙に、所要事項を記入してください。
(11) 学業・職務両立計画書	企業・官公庁・団体等に在職する者で、在職の身分のまま在学を希望する者	企業・官公庁・団体等に在職する者で、在職のまま入学し、研究を行うことを予定している者は、学業と職務を両立させることについての計画を提出してください（A4 判、様式任意）。
(12) 日本語能力証明書	外国人のみ（日本の大学を卒業した者（見込も含む）は不要）	本要項に添付する書式を使用し、日本語教授者、日本政府在外公館員その他適当な方に記入を依頼してください。
(13) 登録原票記載事項証明書	現に日本国に在住している外国人のみ	外国人登録を行った市区町村役所で交付申請を行ってください。外国人登録証のコピーは認められません。
(14) その他	該当者	志望専攻によっては上記以外の書類（TOEFL スコアシート、研究計画書等）の提出を求めることや、提出を免除することがあります。各専攻の入試案内書で確認してください。

## 9. 合格者の発表及び入学手続

- (1) 入試日程Aの合格者は、平成23(2011)年9月9日(金)午前10時に新領域創成科学研究科掲示板(柏キャンパス新領域基盤棟1階)に掲示し、合格者のみに合格通知書を送付します。
- (2) 入試日程Bの合格者は、平成24(2012)年2月24日(金)午前10時に新領域創成科学研究科掲示板(柏キャンパス新領域基盤棟1階)に掲示します。
- (3) 電話、FAX、電子メールによる合否判定についての照会には応じません。
- (4) 平成24(2012)年4月入学者について、入学許可書類は、平成24(2012)年2月24日(金)に本人宛に送付します。入学許可の通知を受けた者は、その際送付される入学手続に関する説明に従い、平成24(2012)年3月12日(月)～14日(水)の間に入学料の納付及び入学手続書類の提出を行ってください。所定の期間内に入学手続を行わない場合には、入学の意志がないものとして取り扱います。
- (5) 平成23(2011)年10月入学者について、入学許可書類は、平成23(2011)年9月9日(金)に本人宛に送付します。入学許可の通知を受けた者は、その際送付される入学手続に関する説明に従い、平成23(2011)年9月20日(火)～21日(水)の間に入学料の納付及び入学手続書類の提出を行ってください。所定の期間内に入学手続を行わない場合には、入学の意志がないものとして取り扱います。
- (6) 入学時に必要な経費(平成24(2012)年度予定額)は以下のとおりです。なお、入学時又は在学中に学生納付金改定が行われた場合には、改定時から新たな納付金額が適用されます。また、日本政府(文部科学省)奨学金留学生に対しては免除されます。
  - ①入 学 料                   282,000 円 (予定額)
  - ②授業料(前期分)           267,900 円 (年額 535,800 円) (予定額)

## 10. 注意事項

- (1) 出願手続後は、どのような事情があっても書類の変更は認めません。また、提出された書類の返却もいたしません。
- (2) 検定料は、出願手続後は、どのような事情があっても払戻しをしません。
- (3) 入学料は、入学手続後は、どのような事情があっても払戻しをしません。
- (4) 身体に障害のある者は、受験及び修学上特別な配慮を必要とすることがあるので、これを希望する者は出願時に本研究科教務係に申し出てください。
- (5) 外国人は、入学手続までに「出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号)」による在留資格を取得しなければなりません。
- (6) 企業、官公庁、団体等に在職のまま大学院に入学を希望する者は、在学期間中学業に専念させる旨の「所属長の承諾書(様式任意)」を入学手続の際に提出してください。
- (7) 本研究科は、出願に当たって知り得た受験者の氏名、住所その他の個人情報については、①入学者選抜(出願処理、選抜実施)、②合格発表、③入学手続業務を行うためにだけ利用します。  
また、入学した者については、同個人情報を①教務関係(学籍、修学等)、②学生支援関係(健康管理、就職支援、授業料免除・奨学金申請、図書館の利用等)、③授業料徴収に関する業務を行うために利用し、これ以外の目的に利用することはありません。
- (8) 出願書類における履歴等について虚偽の記載をした者は、入学後においても遡って入学を取り消すことがあります。

平成23(2011)年4月

**東京大学大学院新領域創成科学研究科**  
**〒277-8561 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号**  
**東京大学大学院新領域創成科学研究科教務係**  
**Tel : 04-7136-4092**  
**<http://www.k.u-tokyo.ac.jp/>**